



InfoFarm NEWS LETTER

～マメ知識総集編～

特別編集
2004.9
株式会社インフォファーム
編集・発行：経営管理室

今回は毎回好評を頂いているマメ知識をまとめてみました。

Excel で突然ファイルが開かなくなっちゃった!! (CCOM NEWS Vol.6)

EXCEL

「Excel を起動していればファイルを開くことができるのに、エクスプローラーやデスクトップ上にあるショートカットアイコンから直接ファイルを開こうとすると“関連付けがない”とメッセージが出てファイルを開くことができない...。」

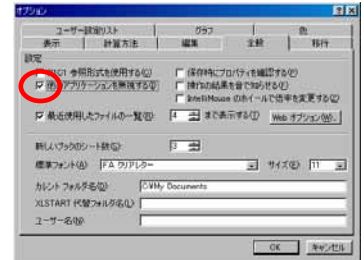
ある日お客様からそんなお問合せを頂きました。せっかく作ったファイルなのにもしかして壊れちゃったの?...と不安になられるのも当然ですね。そこで今回は皆様にもそんな時の裏技をご紹介します。

Excel を起動します。

メニューバーの【ツール】 【オプション】 【全般】を選択します。

【他のアプリケーションを無視する】にチェックが入っていればチェックを外します。

ほとんどの場合はこれで問題解決ができるはずです。ぜひ1度お試しください。



年齢や社歴を求めたい! (CCOM NEWS Vol.7)

EXCEL

社員の年齢や社歴を管理する時に便利な関数をご紹介します。

=DATEDIF(生年月日,TODAY(),"Y")

最後の単位を M に変えれば、年齢を月数に直して換算します。YM にすれば年齢を除いた残りの月数を表示します。



ヤンキース松井秀喜選手 (1974年6月12日生まれ) の場合

=DATEDIF("1974/6/12",TODAY(),"Y")&"歳"&DATEDIF("1974/6/12",TODAY(),"YM")&"ヶ月"

と入力すれば 30 歳 2 ヶ月 (2004 年 9 月現在) と求めることができます。

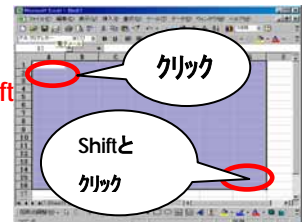
簡単に範囲選択したい! (CCOM NEWS Vol.8)

EXCEL

広い範囲を範囲選択する場合、マウスのドラッグ操作に不慣れな方はちょっと大変です。そんな時にはこんな裏技はいかがですか?

範囲選択したい部分の一番左上でマウスの左ボタンをクリックし、一番右下で Shift キーを押しながら左ボタンをクリックします。

これでクリック操作だけでも簡単に範囲選択することができます。



指定された検索条件に一致するセルの値を合計したい。(CCOM NEWS Vol.9)

EXCEL

指定された検索条件に一致するセルの値のみの合計を出す場合、通常の SUM 関数ではなく、“SUMIF”という関数を使います。

例えば下の表のように〇〇ティーの金額だけを合計したい時などに使います。

尚、今回のように検索条件があいまいな場合には、検索条件に “*” を使うとさらに便利です。

商品	金額
アップルティー	¥650
煎茶	¥540
コーヒー	¥940
アールグレイティー	¥810
緑茶	¥540
ハーブティー	¥530

=SUMIF(データ範囲,"*ティー",合計範囲)

このあいまい検索はCOUNTIF (検索条件に一致するセルの個数を返す関数) 等にも応用できますので、ぜひご利用ください。



いつも使うコマンドだから、毎回メニューバーから選択するのは面倒...そんな時にはよく使うコマンドをツールバーに追加して、自分だけの使いやすい Excel に変更しましょう。

例えば...コピーしたものの値だけを貼り付けたい場合、本来ならメニューバーから【編集】をクリックし【形式を選択して貼り付け】をクリックした後、更に【値】にチェックを入れ【OK】をクリックする必要があります。たまにないけれど、毎回この作業をするのは大変ですね。

そこでこの値のみを貼り付けるというコマンドをツールバーに追加してみましょう。

メニューバーから【表示】 【ツールバー】 【ユーザ設定】を選択し、【コマンド】タブで分類から【編集】をクリックし、コマンドから【値の貼り付け】を選択し、そのままツールバーにドラッグします。図-1

これでツールバーの中にボタンが追加できました。1度ボタンを追加すれば、これからはこのボタンを押すだけで実行できるため、作業がとても簡単になります。図-2

このようなツールバーへのコマンド追加方法は Excel だけに限らず Word 等も同様に行なうことができます。ぜひご活用ください。

図-1

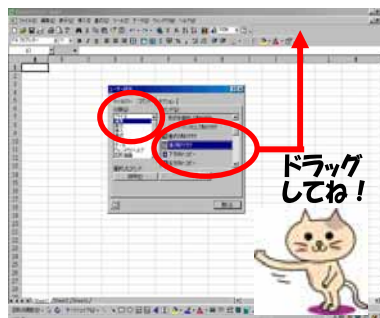
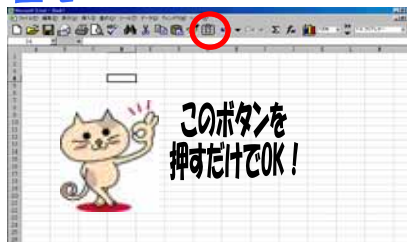


図-2



Windows95/98/Me 等を使っていると、ウィンドウのボタンが正しく表示されなくなる場合があります。図-1

これは、なんらかの原因によって、TrueType フォントが破損したことにより起こる現象です。この場合、破損した TrueType フォントキャッシュ (ttfCache) を削除することによって、問題を解決できる可能性があります。

TrueType フォントキャッシュを削除するには

1. コンピュータを Safe モードで起動しよう。

コンピュータを再起動し、Ctrl キー (もしくは F8) を押したままにします。スタートアップメニューが表示されたらキーボードで [Safe Mode] の番号を押し、Enter キーを押します。図-2

Safe モードで起動すると、壊れてしまったフォントキャッシュファイルが削除されるんだよ。



Safe モードで起動したらコンピュータを再起動し、ボタンが正しく表示されるかどうかを確認します。

まだ正しく表示されない場合は、再度 Safe モードで起動し、2. に進みます。

2. それでもダメなら、直接ファイルを削除しよう。

TrueType フォントキャッシュ (ttfCache) は隠しファイルになっています。隠しファイルを表示するには、デスクトップ上の [マイ コンピュータ] をダブルクリックして開き、[表示] をクリックし、[フォルダ オプション] をクリックします。

次に、[表示] タブをクリックし、[詳細設定] ボックスの中の [表示されないファイル] の [すべてのファイルを表示する] をクリックします。図-3

これで普段は隠れている ttfCache を表示することができました。

Windows フォルダ (通常は c:\Windows) の下にある ttfCache を削除し、再起動してください。

図-1

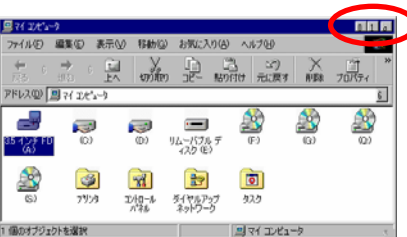


図-2

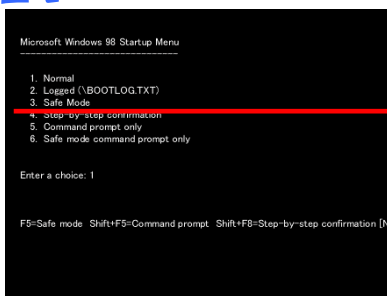


図-3

